

「見て」「聞いて」「感じて」自分を守る。家族を守る。

第4回浜岡原発見学ツアー

ハカルワカル広場

～廃炉と産廃施設を考える～

参加者募集!

- 実施日時 : 11月10日(日) 午前7時45分集合
集合場所 : JR八王子駅南口みずほ銀行前(地図参照) →
午前8時八王子出発 午後7時ごろ八王子帰着
参加費 : 7000円、学生割引3000円、就学前児童無料
見学予定場所 : 浜岡原発PR館・防潮堤・研修センター



現地案内人 : 伊藤実さん・伊藤眞砂子さん他

第1次募集締め切り : 10月10日(空きがある場合2次募集を予定)

お申し込み : 下記ホームページ申込サイト、または電話、メールで
<http://hachisoku.org/blog/?p=6297>

申込サイトのQRコード



八王子からわずか160km、世界一危険と言われる中部電力浜岡原子力発電所は、東南海地震の危険性が叫ばれる遠州灘を背に、砂岩層の上に、まさに砂上の楼閣のように建っています。その敷地内には縦横に活断層が走り、6,564体にも及ぶ使用済み核燃料棒も保管されています。

ハカルワカル広場での浜岡原発見学も今回で4回目となります。廃炉に向かう1,2号機の問題と共に、今町をゆるがしているのは大型産廃施設の建設計画です。切っても切り離せない2つの問題を、現地の方々と情報交換して共有し、原発廃炉後の町の姿を共に考えていきたいと思ひます。



主催 : 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場

問い合わせ : 電話 042-686-0820 メール hachisoku@gmail.com

ホームページ : <http://hachisoku.org/>

浜岡原発の現状

浜岡原発は、中部電力唯一の原発で、1号機から5号機まである沸騰水型軽水炉。東海地震の予想震源域のほぼ真上にあり、またトラブルが多発していることから耐震性と津波対策が懸念されている。1号機と2号機は2009年1月に運転を終了し、廃炉作業中。



浜岡原発放水口

東日本大震災後の11年5月、当時の菅直人首相の要請で、定期検査中の3号機を除く4、5号機が停止。中部電力は14～15年、3、4号機の審査を申請した。19年、南海トラフ巨大地震の想定津波は最大22.5mと新たに試算され、建設済みの防潮堤の高さ22mを津波が0.5m上回る。現在再稼働審査中。

18年3月日本原子力発電は東海第二原発（茨城県）の再稼働には、30キロ圏6市村から事前了解を得なければならないという協定を結ぶ。

原発は地元自治体の同意がなければ動かせない。18年5月、御前崎、掛川、牧之原、菊川の4市は「東海第二方式」を話し合う必要があると呼び掛けた。4市は18年7月に原発担当職員

の勉強会を開くことになったが、突然延期となる。原発がある御前崎市議会が反発し、原発推進派の一部市議が「地元はわれわれだけだと、各市町に強く言わなくては」と市に迫った。御前崎市と周辺自治体の溝は深いまま。地元自治体が足並みをそろえるまでには、まだまだ時間がかかる。

1、2号機廃炉の状況

浜岡1・2号機の廃炉は2009～2036年度の28年間4段階の廃炉計画。第1段階（09～14）で燃料を搬出した後に、第2段階（15～22）では原子炉の周辺設備を解体・撤去する。次いで第3段階（23～29）で原子炉の解体・撤去を実施して、最後の第4段階（30～36）で建屋の解体・撤去と放射性廃棄物の処理を完了する計画だ。第1段階で搬出した燃料のうち、使用済みの燃料は4、5号機に移した。未使用の新燃料は茨城県の東海村にある燃料加工メーカーに返送した。第2段階では、原子炉の周辺にある発電機のタービン本体などを解体・撤去する。期間中に計2.8万トンの廃棄物が発生する。ただし低レベルの放射性廃棄物について廃棄先は未定。仮置き場だった敷地が、なし崩し的に処分場になるのではないか。

御前崎リサイクルエネルギープラザ

大栄環境（神戸市）が浜岡砂丘に近い海沿いに建設を計画。産業廃棄物処理と発電を兼ね、総面積27,000㎡。焼却施設を2基造り、1日566トンの処理能力、12,000KWの発電をする。2021年4月着工予定で、県の環境影響評価審査中。放射性物質と有害物質の放出が懸念される。

建設予定地は、御前崎遠州灘県立自然公園に隣接しており、近くの海岸は、絶滅危惧種アカウミガメの産卵地帯。どうして、このような場所に建設するのか。南に太平洋、東に駿河湾と海に囲まれた自然と海の幸、里の幸にめぐまれた街に。

御前崎市長はなんと住民に確認もせずに土地の賃貸契約に市長印を捺印してしまった！



浜岡砂丘